

第 26 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会愛知県大会 報告

文化の日の 11 月 3 日（金）に、東海高校を会場に標記大会が行われた。これは高校生にとって高校選手権、高校竜王戦と並ぶ大きな大会である。参加資格は 1、2 年生のみで、男女それぞれの上位入賞者は来年 1 月に開催される全国大会に出場できる。

県大会は愛知県高校将棋連盟、愛知県高文連、日本将棋連盟東海普及連合会の共催で、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会の四者の後援を受けている。

大会結果を簡単にお伝えする。

★ 男子個人戦

210 名のエントリーがあったが、県代表の枠は 2 名のみと厳しい。初戦からトーナメント戦を行い、ベスト 32 で再抽選をして紅白 16 名ずつのトーナメントに分け、それぞれの優勝者を愛知県代表とした。最多で 7 局指すことになり、棋力、気力、体力どれも充実していることが必要と言える。

[紅] 優勝	木村隼己（豊田高専 1 年）	[白] 優勝	瀬野泰平（愛工大名電 1 年）
準優勝	大平勇輝（一宮工業 1 年）	準優勝	坂東拓真（東海 2 年）
第 3 位	松田陸玖（滝 2 年）	第 3 位	原田知輝（愛知みずほ大瑞穂 1 年）

紅優勝の木村君は 7 月の東海三県大会個人戦の覇者である。一方、白優勝の瀬野君は高校選手権全国大会に団体戦のメンバーとして出場したほか、高校竜王戦でも県大会準優勝の実績がある。

★ 女子個人戦

14 名が参加した。愛知県では参加 8 名までは総当たりリーグ、9 名以上になるとスイス式という取り決めがあり、今回はスイス式 4 対局を行った。

優勝	迎琉歌（瑞陵 2 年）
準優勝	木村野乃花（津島 2 年）
第 3 位	向井亜美（南山女子部 2 年）

女子の全国大会への出場枠が従来より 1 名減って 3 名となった影響で、今回から順位決定法を一部変更した。4 対局の結果、全勝の迎さんが優勝、迎さんに敗れた 3 勝 1 敗の選手 3 人で残り 2 枠を競うことになった。ソルコフ（対戦相手の勝ち数合計）が 3 人のうちで最多の木村さんを 2 位とし、残り 2 人が指して、勝者を 3 位とした。今回の代表者はみな女子の全国大会でベスト 4 以上の経験があり、例年以上にレベルの高い大会だったと言える。

全国大会は、お隣の静岡県浜松市で 2018 年 1 月 25 日から 27 日にかけて開催される。代表となった 5 名の選手には、県内の他の選手の分も頑張ってきてほしい。

（以上、日本将棋連盟東海普及連合会 HP より抜粋）